

テーマ：異文化学習の推進

クライアントからのメッセージ

AFS はさまざまな問題が複雑に絡みあう現代の社会において、自ら考えて行動し、多様な背景をもつ人々と協力しながら問題解決をはかることのできる、グローバル市民を育成しています。また、その活動を継続していくために、寄付を募っています。

グローバル市民育成という AFS の教育理念に、見る人の関心を引き込むデザインが出てくることを期待しています。

インスタグラム投稿、チラシ制作の素材と条件

キャッチコピーやその他の文字素材については、自分なりに考えてもいいですが、

思いつかない場合には、下記の案を使用したり、参考にしてアレンジしたりしてみましょう。

【キャッチコピーの例】

- Support AFS, Build Global Community
- We Develop Active Global Citizen
- AFS Empower Young People from All Backgrounds
- 活動するグローバル市民を育てる
- 共にグローバル人材育成を育成しませんか？
- 自ら考え、行動を起こせる人を育成する
- あなたの寄付が、多文化共生社会をつくれます
- みなさまからのご支援が、AFS の教育事業を支えます
- 教育への投資は未来への投資

【キーワード】

異文化理解、国際理解、異文化学習、平和、多様性、グローバル・コンピテンシー、ダイバーシティ&インクルージョン、寛容の精神、ボランティア活動、SDGs

制作物規定

以下の作品をそれぞれ 1 点ずつ、計 2 点を制作してください。

- インスタグラム投稿（1 : 1、1080×1080ピクセル）
- チラシ（A4 サイズ、縦、表面のデザインとして使用）

制作物を使うシチュエーション

- **インスタグラム投稿**

インスタグラム投稿使用（広告として利用する可能性あり。対象は個人）

- **チラシ**

留学生との交流イベントや体験談報告会などのイベントで配布もしくはラックに陳列。

（寄付候補先訪問時の資料のビジュアルとして使用することも検討。対象は個人ならびに法人・団体）

必須項目

- 団体名称：公益財団法人 A F S 日本協会
- ロゴ ※別資料
- キャッチコピー（自作も可）
- **ブランドガイドライン**を参照してください ※別資料

写真素材・写真の説明

AFS から提供する以下の写真の他に、イメージに合う写真（オリジナル・未発表）も使用可能です。

【写真】 平和を願って始まったのが、AFS の交換留学です 加工 OK

AFS の名は、第一次・第二次世界大戦で傷病兵の救援に尽力したボランティア団体 American Field Service に由来します。悲惨な戦争の結果である傷病兵の救出よりも戦争を起こさないようにする活動が大切だと考え、互いの違いを知り、尊重しあうことの大切さを学ぶ機会として、高校生の交換留学を始めました。世界の人々と協力し、公正で平和な世界を築き続けるために、若者を中心とした多くの人々が交流の機会を持てるよう、AFS は交換留学事業を続けています。

※いずれも使用時には、クレジット「**(C) Archives of the American Field Service and AFS Intercultural Programs**」を入れてください



【AFS】Intercultural_Learning_01



【AFS】Intercultural_Learning_02



【AFS】Intercultural_Learning_03



【AFS】Intercultural_Learning_04

【写真】 交換留学プログラムを通じて、世界に多様な背景をもつ人々がいることを知ります 加工 OK

今まで当たり前だと思っていた世界とは違う社会があることを知ると、世界の見え方が変わります。

自分を家庭の一員として受け入れる人々と暮らし、現地の生徒と共に高校生活を送るなかで、かたい絆を結び、生涯にわたって交流関係を続ける人も多くいます。AFS 国際本部が実施した調査では、AFS の交換留学プログラムに参加した人が共通して挙げた変化が「新しい見方や考えを取り入れられるようになった」「それまでと違う考え方や見方ができるようになった」「何十年も関係が続く友人を得た」でした（2018年11月～2019年3月、AFS 国際本部調査）。

※いずれも使用時には、クレジット「**(C) AFS Intercultural Programs**」を入れてください



【AFS】Intercultural_Learning_05



【AFS】Intercultural_Learning_06



[AFS]Intercultural_Learning_07



[AFS]Intercultural_Learning_08



[AFS]Intercultural_Learning_09

【写真】 多様な価値観を持つ人々と協力しながら自ら考え行動を起こす力が、今後ますます求められていきます

加工 OK

現代は、変化が激しく、複雑な要因が絡み合った将来の予測が困難な時代と言われています。このような世界を生き抜いていくためには、自ら考えて行動し、多様な背景をもつ人々と協力しながら問題解決をはかる力が必要と言われています。

AFS は多様な国と交流しています。留学中、AFS の交換留学プログラムに参加している生徒は、自分と同じように世界各地から留学してきている同じ世代の留学生とも出会います。AFS ボランティアが定期的を開催する交流会や日常生活を通じて、生徒たちはいろいろな価値観や意見のあることを知ります。また、互いの境遇や家族のこと、学校生活の悩みなどを話し合う中で自分と異なる生活環境で生きている人への関心と理解を深め、関係を築いていきます。そして、生涯を通じて、共感する力、違いを尊重する姿勢を育んでいきます。

※いずれも使用時には、クレジット「**(C) AFS Intercultural Programs**」を入れてください



【AFS】Intercultural_Learning_10



【AFS】Intercultural_Learning_11

【写真】 グローバル市民育成を支える AFS のボランティア 加工 OK

AFS のボランティアは、異文化で生活する高校生とホストファミリー、ホストスクール、地域の人々をつなぎ、相互理解や相互尊重を支え、生涯わたる絆づくりをサポートしています。多様なバックグラウンドを持つ高校生を受け入れ、日本のコミュニティとつなぐためには、語学力だけではなく高いスキルが必要です。AFS には、ボランティア同士が学び、スキルを高めていけるような研修を受講する機会も多くあります。研修の一つ「Foundations」は、文化を越えた理解力を育むために必要な基礎を学べる講座です。この他にも、ジェンダー認識を深める講座や、多感な時期にある 10 代をサポートするための精神科医による相談会などもあります。ボランティア自身も多様性や個性を認め合い、社会に貢献できるグローバル市民となり、コミュニティも変えていくのが、AFS のボランティアです。

※クレジットについて

- ・【AFS】Intercultural_Learning_15 : 使用時には、クレジット「(C) AFS Intercultural Programs」を入れてください
- ・上記以外はクレジット不要



【AFS】Intercultural_Learning_12



【AFS】Intercultural_Learning_13



【AFS】Intercultural_Learning_14



【AFS】Intercultural_Learning_15



【AFS】world_hug



【AFS】compassion1



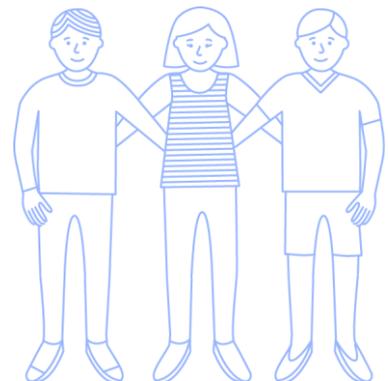
【AFS】compassion2



【AFS】family1



【AFS】family2



【AFS】friends

1. テーマ依頼の背景

AFS 日本協会は、多くの人びとが公正で平和な世界の実現に必要な知識、能力、理解力を身につけられるよう異文化と接する機会を提供するグローバルな教育団体「AFS」の日本における活動法人です。国際相互理解の促進と人類文化の発展、世界の平和に寄与することを目的に、ニューヨークに拠点を持つ国際本部のもと、世界 60 の国や地域で活動する各国パートナーと共に、高校生の交換留学事業やさまざまな年代を対象にした研修など、異文化を学ぶ機会を提供しています。

今は、変化が激しく複雑な要因が絡み合った将来の予測が困難な時代と言われます。そのような環境を生き抜くには、多様な価値観を持つ人々と協力しながら、自ら考え行動を起こす力が欠かせません。AFS は多感な時期にあり柔軟性に富んだ高校生に異文化で暮らす機会を提供することで、若者たちが文化摩擦を乗り越えていく力、共感する力、違いを尊重する姿勢を育めるよう手助けをしてきました。

AFS が提供するプログラムの多くは高校生を対象にしていますが、これらは、異文化体験を送る高校生をサポートするボランティアがいて完成することを忘れてはなりません。異文化で生活する高校生を支える人々も、留学生をサポートする経験を通じて自分の文化を見つめ直したり、世界の多様さに気づいたり、協力しあうことの大切さを学びます。

AFS の事業は、限られた職員と全国各地にいる数多くのボランティアで担われています。ボランティアが増えると、異文化を学べる高校生も増やすことができます。日本の高校生と交流し学びあおうとする留学生や、海外で異文化体験を送ろうとする生徒をサポートできる人々が増えるからです。AFS のボランティアは定期的に研修を受け、高校生や高校生を受け入れる学校、ファミリーの異文化理解をサポートするスキルを伸ばしています。

これらのボランティア活動を支えるのは、皆様からのご寄付です。これから多くの人公正で平和な世界の実現に必要な知識、能力、理解力を身につけられるよう、AFS 活動を支えてくださる方が増えることを願い、寄付を呼びかける SNS 投稿用デザインもしくはチラシの制作を依頼します。

2. AFS が交換留学を始めた経緯

AFS は American Field Service (アメリカ野戦奉仕団) という名前で活動したボランティア団体に起源があります。1914 年、第一次世界大戦が勃発した時に、パリにいたアメリカ青年たちが、傷病兵を戦場から後方の病院へ輸送する活動をしたのが始まりです。その後も、American Field Service は、第二次世界大戦でも傷病兵の救援に尽力しました。しかし、戦後、傷ついた兵士を救助する活動よりも戦争を起こさないことのほうが大事だと考え、青年たちは、若者に交換留学と異文化学習の機会を提供する交換留学制度を始めました。

1947 年に世界 11 か国から 52 人の若者がアメリカに派遣されて以来、AFS は次第に活動範囲を広げ、現在では、約 90 の国・地域と交流するネットワークを持つ、世界的な教育団体となっています。

平和を願って始めた交換留学の事業が、現在の AFS の活動の中心です。ボランティア精神はいまも継続され、留学中の生徒、生徒を受け入れる学校やファミリーのサポートはボランティアによって担われています。ボランティアは、異文化を理解するために大切な考え方を学べるオンラインプログラムや研修会を定期的に受講し、スキルアップに努めています。

3. 高校生で留学する意味

高校生の10代半ばから後半という年代は、自分で考える力を育み、大人になりつつも、まだまだ柔軟に変化できる、特別な時期です。

今まで当たり前だと思っていた世界とは違う社会があることを知ると、見える景色ががらりと変わります。現地の人々と日常を共にする中で「こんな生き方もあるんだ」と感じることは、心をこうあるべきという固定概念から解放し、自由にしてくれます。また、それまでと違う環境で暮らす体験は、留学生にも、受け入れる側にも、驚きやショックを与えたり、拒否反応を引き起こしたりすることがあります。AFSのボランティアは、世界各地に存在する多様な価値観をもった高校生と、彼らを受け入れるホストファミリーやホストスクールをつなぎ、国を越えた相互理解や相互尊重をサポートし、生涯にわたる絆づくりを支援しています。留学中の高校生は、こうしてボランティアやホストファミリー、ホストスクールなど周囲の人々に支えられ、異文化摩擦を乗り越えていき、学校の友人などと共に、共感力、違いの尊重、柔軟性を育んでいきます。

高校時代の海外留学がその後の人生とキャリアにもたらす影響は大きく、1947年～2018年のAFS留学体験者80カ国10,500人を対象に実施した調査では、高校留学に参加したことでグローバルな環境で働く準備ができたと回答した人は90%、アクティブなグローバル市民になれたと回答した人は87%、早いスピードでキャリアアップできたという人は79%います（2018年11月～2019年3月、AFS国際本部調査）。

また、OECDが2018年に実施したPISA（Programme for International Student Assessment）と呼ばれる国際的な学習到達度に関する調査の結果報告で「AFSプログラムに参加した高校生は、異文化間能力レベルが高く、異文化の人々と交流する際の不安が少なく、異文化の人々との友情が深まっている。また、受入国に関する知識が豊富で、受入国の言語にも流暢である。さらに重要なことは、学生はこれらの利点を大人になってからも維持するということである」と報告されました（2020、OECD "Are Students Ready to Thrive in an Interconnected World?"）。

4. 寄付はボランティアの活動を支えます

AFSのボランティアは異文化で生活する高校生とホストファミリー、ホストスクール、地域の人々をつなぎ、留学生と留学生に関わる人々の異文化理解を支援しています。いただくご寄付は、これらのボランティアの日々の活動費や留学生と地域の方々をつなぐ交流会や報告会などの催し、地域の学校を対象にした出前授業、ボランティア向けの研修などのために活用させていただいています。

安全にプログラムを実施するための情報収集や調査、より多くの人が異文化学習機会を得られるようにするための新規プログラムの調整や開発、奨学金支援策の拡充にも、寄付は役立っています。

5. 寄付金の税制上の優遇措置について

公益財団法人AFS日本協会は公益財団法人（特定公益増進法人）です。いただくご寄付は、寄附金控除（所得税法第78条）または税額控除（措置法第41条の18の3）の対象となります。また、特別損金算入限度額の寄附金（法人税法第37条）として、損金算入することができます。

【参考となるWEBページ】

公益財団法人AFS日本協会 <https://www.afs.or.jp/>